

# 【同志社大学 新入学生向け】

## 2023年度 日本学生支援機構奨学金 予約採用候補者の方へ

学生生活課



# 進学時の手続きについて

このスライドでは、  
日本学生支援機構奨学金予約採用候補者が、日本学生支援機構貸与型奨学金・  
日本学生支援機構給付型奨学金(修学支援新制度による給付)を受給するために  
必要となる進学時の手続きと、修学支援新制度による同志社大学授業料減免を受  
給するために必要な手続きについて記載しています。  
希望者は次の2つの手続きを行ってください。

I. 必要書類の提出

II. 「進学届」の提出(インターネットによる入力・送信)

その他の注意事項

# I . 必要書類の提出

## 提出方法

**至急**、通学校地の学生生活課宛に郵送にて必要書類を提出してください。

(必要書類は次頁以降参照)

※郵送方法は指定しませんが、配達記録が残る方法が望ましいです。

**【今出川校地】**

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入  
同志社大学 学生生活課宛

**【京田辺校地】**

〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3  
同志社大学 学生生活課宛

# 提出するもの(その1)

①は全員、②は給付奨学金の採用候補者のみ、③④は該当者のみ。

## 【全員】

①令和5年度大学等奨学生採用候補者決定通知  
(進学先提出用) →

※令和4年度のものは無効です(有効期限切れ)  
※2通ある場合は発行日付の新しい方を。

## 【給付奨学金 採用候補者のみ】

②授業料等減免申請書(大学所定用紙) →  
(フォームは下記URLを参照してください。)

[https://www.doshisha.ac.jp/scholarships/latest\\_information/for\\_faculty.html#yoyaku](https://www.doshisha.ac.jp/scholarships/latest_information/for_faculty.html#yoyaku)

※必ず両面印刷してください。

## 提出するもの（その2）

### ③ 給付奨学金の採用候補者で、自宅外通学の者

1. 【給付様式35】「通学形態変更届(自宅外通学)」  
(フォームは下記URLを参照してください。)

[https://www.doshisha.ac.jp/scholarships/latest\\_information/for\\_faculty.html#yoyaku](https://www.doshisha.ac.jp/scholarships/latest_information/for_faculty.html#yoyaku)

※「進学届入力日」は空欄のまま提出してください。

2. 自宅外通学であることの証明書類  
(賃貸借契約書等 1. の指示に従って提出すること)

※書類の右上に学籍番号と氏名をエンピツ書きしてください。

### ④ 入学時特別増額貸与奨学金希望者で、入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について決定通知に「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込:必要」と印字がある者

- ・「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」
- ・融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー

※書類の右上に学籍番号と氏名をエンピツ書きしてください。

# 令和5年度大学等奨学生採用 候補者決定通知(進学先提出用)裏面の記入

■油性ボールペンで記入すること  
(鉛筆や消えるタイプのペンは不可)

■本人控は切り離し、自分で保管。  
進学先提出用のみ提出

■下宿生の場合下宿先住所を記入

■電話番号は、本人の携帯電話の  
番号を記入(固定電話がない場合は、  
「電話番号」の欄は記入不要)

【進学後記入欄】

学籍番号			
学部・学科			
(フリガナ)			
氏名			
進学後の 連絡先 (本人)	住所	〒	
	電話番号		携帯電話 番号
	-	-	-

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。

進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。

については、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込: 必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。

については、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。

① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」(本通知に同封の様式)

② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー

(圧着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します。)

進学届の提出時に、入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(必要書類がととのえられなかった場合を含む)。

(2) 保証制度 「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。

進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。

# 令和5年度大学等奨学生採用 候補者決定通知(進学先提出用)裏面の記入

1. 奨学金振込口座について  
全員チェック

2. 給付奨学金について  
給付奨学金の採用候補者となっ  
ている方はいずれか1つにチェック。  
自宅外通学を選択した方は、  
【給付様式35】「通学形態変更届」と  
「自宅外通学であることの証明書  
類」を一緒に提出。

【進学後記入欄】

学籍番号			
学部・学科			
(フリガナ)			
氏名			
進学後の住所	〒		
連絡先(本人)	電話番号	携帯電話番号	

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。  
 進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。  
 ついては、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込:必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。  
 ついては、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。  
 ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」(本通知に同封の様式)  
 ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー  
 (圧着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します)。  
 進学届の提出時に、入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(必要書類がととのえられなかった場合を含む)。

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。  
 進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。



# 令和5年度大学等奨学生採用 候補者決定通知(進学先提出用)裏面の記入

## 3. 貸与奨学金

### (1) 入学時特別増額貸与奨学金

裏面の入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローンの申込」:**必要**」と印字がある人

増額貸与を利用する場合:

- 「利用します」にチェックを入れ、**
- ①「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」
  - ②融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピーを一緒に提出してください。

【進学後記入欄】

学籍番号					
学部・学科					
(フリガナ)					
氏名					
進学後の連絡先(本人)	住所	〒			
	電話番号	-	-	携帯電話番号	- -

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

- 採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

- 進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。  
 進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。  
 ついては、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込:必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

- 入学時特別増額貸与奨学金を利用します。  
 ついては、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。  
 ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」(本通知に同封の様式)  
 ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー  
 (圧着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します)。  
 進学届の提出時に、入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(必要書類がととのえられなかった場合を含む)。

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

- 連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。  
 進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。

# 令和5年度大学等奨学生採用 候補者決定通知(進学先提出用)裏面の記入

## 3. 貸与奨学金 (2) 保証制度

貸与奨学金の採用候補者で、「人的保証」を選択している奨学金がある人(裏面の保証制度の欄に印字)は、どちらかの口にチェック

【進学後記入欄】

学籍番号				
学部・学科				
(フリガナ)				
氏名				
進学後の連絡先(本人)	住所	〒	携帯電話番号	
	電話番号	-	-	-

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅進学」を選択します(入学月より自宅進学となるため)。  
 進学届にて「自宅外進学」を選択します(入学月より自宅外進学となるため)。  
 ついては、進学先の学校へ入学月において自宅外進学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込:必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。  
 ついては、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。  
 ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」(本通知に同封の様式)  
 ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー  
 (圧着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します。)  
 進学届の提出時に、入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(必要書類がととのえられなかった場合を含む)。

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。  
 進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。

## 候補者に決定後、改氏名を承認された方

候補者に決定後、改氏名を承認されて  
「**変更承認通知**」を受け取っている場合は、  
一緒に提出してください。

# 授業料等減免申請書(大学所定用紙)の記入

## (記入上の注意点)

必要事項を記入したものを提出してください。

「機構の給付奨学金」欄は、「高等学校等で予約採用の申込を行った者」にチェックを入れ、令和5年度大学等奨学生採用候補者決定通知【進学先提出用】表面にある登録番号を記入してください。

A様式1

大学等における修学の支援に関する法律による  
授業料等減免の対象者の認定に関する申請書  
(授業料等減免認定申請書)

20 年 月 日

同志社大学長 様

私は、貴学に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者としての認定を申請します。

申請にあたって、私は以下の事項を確認し、理解しています。

- この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち切られることがあります。また、在学する学校から減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。
- 授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構(以下、「機構」という)を通じ、同志社大学が機構の保有する私の給付奨学金に関する情報(奨学金返入口座情報を含む。)の送付を受けること、及び機構が同志社大学の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。
- 現在、他の学校において、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免を受けておらず、当該授業料等減免の対象者の認定申請中でもありません。
- 減免の対象となる授業料等を一旦納入し、その後減免相当額の還付を受ける場合、振込と同時に還付金を領収したものと認めます。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。(※を付した項目については、該当者のみ記入すること。)

申請者	フリガナ	入学年月	(西暦) 年 月 日 入学
	氏名(自署)		
	生年月日(西暦) 年 月 日生(歳)		
	現住所 〒 都道府県 市区町村		
	所属学部・学科等	学部 学科	学生ID
	学年	昼間・夜間・通信の別	<input checked="" type="checkbox"/> 日(昼夜間兼を含む) <input type="checkbox"/> 夜 <input type="checkbox"/> 通信
	過去に本制度の支援を受けた学校名、期間(※)	(学校名)	(期間/月数) (西暦) 年 月 ~ 年 月 / 月
	過去に本制度の入学金減免を受けたことがありますか。		ある ・ ない
	機構の給付奨学金に関する情報(いずれかの口に印を付け、右欄に該当する番号を記載してください。)		
	高等学校等で予約採用の申込を行った者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 【機構からの通知に印字されている登録番号】		
	<input type="checkbox"/> 【給付奨学金の申込の受付番号】		
	減免相当額の還付を受ける場合の振込口座(いずれかの口に印を付けてください。)		
	※「希望しない」を選択する場合は、本申請書とともに振込依頼書を提出すること		
	<input type="checkbox"/> 機構に届け出た奨学金口座への振込を希望する(この場合は、機構に届け出た奨学金返入口座の情報を本学における授業料等減免業務に使用することに同意します。)		
	<input type="checkbox"/> 機構に届け出た奨学金口座への振込を希望しない(別紙提出)		

2021.04 予約採用/在学採用

# 授業料等減免申請書(大学所定用紙)の記入

## (記入上の注意点)

「減免相当額の還付を受ける場合の振込口座」について必ずいずれかにチェックしてください。

大学等における修学の支援に関する法律による  
授業料等減免の対象者の認定に関する申請書  
(授業料等減免認定申請書)

A様式1

国司社大学長 様

私は、貴学に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者としての認定を申請します。

申請にあたって、私は以下の事項を確証し、題解しています。

- ◆ この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち明けられることがあります。在学中に学校から減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。
- ◆ 授業料等減免の対象者の認定手続において、独立行政法人日本学生支援機構(以下、「機構」という。)を通じ、国司社大学が機構の保有する別の給付奨学金に関する情報(奨学金返込口座情報を含む。)の送付を受けること、及び機構が国司社大学の保有する別の授業料等減免に関する情報の送付を受けることに同意します。
- ◆ 現在、他の学校において、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免を受けておらず、当該授業料等減免の対象者の認定申請中でもありません。
- ◆ 減免の対象となる授業料等を一旦納入し、その後減免相当額の還付を受ける場合、返込と同時に還付金を徴収したものと認めます。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。(※を付した項目については、該当者のみ記入すること。)

申請者	フリガナ			(西暦) 年 月 日 入学
	氏名 (姓)			入学年月
	生年月日	(西暦) 年 月 日 生 ( 歳 )		
	居住地	〒	〒	市区町
	所属学部・学科等	学部	学科	学生ID
	学 年	昼間・夜間・通信の別	<input checked="" type="checkbox"/> 昼 (昼夜間併を含む) <input type="checkbox"/> 夜 <input type="checkbox"/> 通信	
	過去に本年度の支援を受けた学校名、期間(※)	(学校名)	(開始/月数)	(西暦) 年 月 ~ 年 月 / 月
	過去に本年度の入学金減免を受けたことがありますか、	ある ・ ない		
	機構の給付奨学金に関する情報 (いずれかの口に入印を付け、右欄に該当する番号を記載してください。)	<input type="checkbox"/> 高専学校等で予約採用の申込を行った者 <b>【機構からの通知に印字されている登録番号】</b>		
		<input type="checkbox"/> 本学で在学採用の申込を行った者 <b>【給付奨学金の申込の受付番号】</b>		
	減免相当額の還付を受ける場合の振込口座 (いずれかの口に入印を付けてください。)	<input type="checkbox"/> 希望しない。を推奨する場合は、本申請書とともに振込依頼書を提出すること <input type="checkbox"/> 機構に届け出た奨学金口座への振込を希望する (この場合は、機構に届け出た奨学金返込口座の情報を本学における授業料等減免業務に使用することに同意します。) <input type="checkbox"/> 他に指定された奨学金口座への振込を希望しない(別紙提出要)		

2022.04 予約採用/在学採用

## Ⅱ. 「進学届」の提出（インターネットによる入力・送信）

## 令和5年度大学等奨学生採用候補者決定通知 提出後の手続きについて

個人でお持ちのアドレス(Gmailやキャリアメール等)ではありません!

決定通知を提出した方には、**Microsoft 365(Outlook)**のメール(大学が付与したメールアドレス宛)に「進学届提出用ユーザID・パスワード」等をお送りします。

※進学届提出用ユーザID・パスワード送付日

決定通知が学生生活課に到着した日(土日に到着した場合は翌月曜日)の夕方以降に送付します。

## 令和5年度大学等奨学生採用候補者決定通知 提出後の手続きについて

次頁以降に記載の手順により、

**期限までにインターネットで「進学届」を提出してください**(進学届提出用ホームページアドレスにアクセスし、  
**識別番号: ユーザーIDとパスワードでログイン**)。

### 【Microsoft365 (Outlook)メール(大学付与メールアドレス)の確認方法】

- ・メールアドレスは「ユーザID通知書」に記載されているものです  
(doshisha.ac.jp)。  
「ユーザID通知書」は、入学時に学生証とともに学部事務室から配布されます。
- ・Microsoft 365(大学ホームページ「在学生の方」からアクセス可)で本学が付与したメールアドレスを利用できます。



## 令和5年度大学等奨学生採用候補者決定通知 提出後の手続きについて

### ●インターネットによる「進学届」の提出が必要

採用候補者決定通知を提出しても、進学届を提出しなければ、決定通知に記載のすべての奨学金は辞退したものとして取り扱われます。

入力期限: 5月22日(月)

奨学金振込日: 6月9日(金)以降、毎月振込。

## インターネットによる進学届の提出・注意事項

- 進学届入力下書き用紙を下記URLからダウンロードし、印刷してください。

[https://www.doshisha.ac.jp/scholarships/latest\\_information/for\\_faculty.html#yoyaku](https://www.doshisha.ac.jp/scholarships/latest_information/for_faculty.html#yoyaku)

- 進学届入力下書き用紙に下書きをしてから、インターネットで入力してください。入力開始から30分以上経過すると、**タイムアウト**となり、最初からやり直しになります。
- 進学届の提出を行ったあとは、インターネットによる修正は**できません**。入力を間違えるとその後の修正手続きが煩雑となるため、必ず下書きをしたうえで、入力してください。例年、生計維持者・保証人の住所と生年月日を間違えるケースが非常に多く発生しています。
- 「**進学届の提出(高校等で予約済みの人)**」を選択してください。ボタンの押し間違い、IDやパスワードの入力間違いに気をつけること。(IDは半角英数字のみ、**全角は×**。パスワードは**大文字・小文字の区別**が厳密に要求されます。)
- 人的保証の場合、連帯保証人・保証人の住所欄は、**印鑑登録証明書に記載の住所(住民票と同じ住所)**です。

## インターネットによる進学届の提出・注意事項

■ 振込口座は**あなた(申込者本人)名義の普通預金口座**です。

父母名義の口座では**振込不可**です。

※農協、信託銀行・外資系・ネットバンク等は不可

※長期間利用していない口座は避けてください。

口座を正しく入力しないと**振込みは開始されません**。

例年、振込口座の入力間違いにより奨学金の初回振込が大幅に遅れるケースが非常に多く発生しています。下書き用紙の注意点をよく読み、慎重に入力してください。

## インターネットによる進学届の提出・注意事項

■ 給付奨学金で、当初申し込んだ内容から変更できる項目  
→採用候補者のしおり(P.8参照)

・貸与奨学金のみ辞退(一部辞退)

給付と貸与の両方について候補者となっているが、貸与の一部またはすべてを辞退したい場合。ただし、一度辞退すると、その取消はできません。

・あなたの生年月日

・生計維持者情報

## インターネットによる進学届の提出・注意事項

### ■ 貸与奨学金で、当初申し込んだ内容から変更できる項目

→採用候補者のしおり(P.8参照)

#### ・複数の奨学金の中で一部奨学金のみ辞退

第一種と第二種の両方について候補者となっているが利息のつく第二種を辞退したい場合。ただし、一度辞退すると、辞退を取り消すことはできませんので十分にご注意ください。

#### ・あなたの生年月日

#### ・貸与月額(ただし、検討は慎重に！)

第一種奨学金の採用候補者の方で、採用候補者決定通知に「(最高月額利用不可)」と記載がある場合、最高月額は利用できません。

#### ・入学時特別増額貸与奨学金の貸与額(採用決定者のみ)

#### ・利率の算定方法    ・返還方式

#### ・保証制度(人的保証or 機関保証)    ・生計維持者情報

# その他の注意事項

## インターネットによる「進学届」手続き後のスケジュール

初回振込以後に、大学から父母住所宛に  
**採用通知**を発送します。

→7月上旬に**採用関連書類**を発送

貸与奨学金採用者は返還誓約書等を提出していただきます。

(未提出の場合は**採用取消**)

**採用のお知らせは、Microsoft 365のメール(大学付与のメールアドレス宛)にも送付します。**

## 予約採用候補となっていない奨学金を希望する場合

給付のみ申し込んで候補者となったが、貸与も必要な場合。

貸与のみ申し込んで候補者となったが、給付も必要な場合。

貸与の候補者となり、

- 第二種に予約採用が決まっているが、第一種に移行したい場合  
or 第一種も併用したい場合。
- 第一種に予約採用が決まっているが、第二種も併用したい場合

→ 入学後に必要な奨学金を出願してください。

4月1日(土)より出願受付開始、5月8日(月)出願締切(郵送、消印有効)募集要項等、詳細は大学公式サイト内の「奨学金」のページを参照してください。

採用候補者決定通知に書いてある【採用候補者となった奨学金の種類】のとおりで良い場合は、**新たに出願する必要はありません。**



## 連絡はE-mailを使用します

奨学金に関する連絡は、Microsoft 365(Outlook)のメール(大学が付与したメールアドレス宛)に行います。

個人でお持ちのアドレス(Gmailやキャリアメール等)ではありません！

普段からE-mailを毎日チェックするクセをつけましょう。(スマートフォンアプリでメールの受信確認が行えますので、スマートフォンアプリのご利用を推奨します。)